## 質問書に対する回答

## 件 名 旧灰溶融施設 (エコスラグセンター) 解体撤去工事

次のとおり回答します。

番号  (該当箇所)  本工事にあたり、目視または設計図 「目視または設計図書で確認でき 書で確認できず且つ予見できない相 違が生じた場合、設計変更扱いにな ると考えてよろしいでしょうか。  と考えてよろしいでしょうか。  ものではありません。予見できな いものであかたとしても、本工事の目的及び施工上当然に必要と思われるものについては、組合の指示に従い、受注者の負担と責任において対応していただく必要があります。  なお、当然に必要であるか否かについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。  「当然に必要と思われるものについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。  「当然に必要と思われるとのについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で制断することとなります。  「当然に必要と思われると地定されない要件」については、発生した事象がとし受発注者間で協議を行った上で設計変更の該当の有無を判断することとなります。  別計図書項 1)適用範囲 判断することとなります。  録計図書p.3 第1章 総則 5.一般共通事項 4)疑義  別方突土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしいではおいては設計変更扱いとなると考えてよろしいには設計変更扱いとなると考えてよろしいには設計変更扱いとなると考えてよろしいには設計変更扱いとなると考えてよろしいには設計変更扱いとなると考えてよろしいには設計変更扱いとなると考えてよろしい				
番号  本工事にあたり、目視または設計図書で確認できずかつ予見できない相違が生じた場合、設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。  「目視または設計図書で確認できずとの予見できない相違が生じた場合、設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。」  なお、直然に必要と思われるものについては、組合の指示に従い、受注者の負担と責任において対応していただく必要があります。 なお、当然に必要と思われると想定される、当然に必要と思われると想定されると考えてよるしいでは、受注者の負担と責任において達成しなければならない」と記載されていますが、当然に必要と思われると想定されない要件については設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。  「当然に必要と思われると想定されない要性については、設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。」  凝計図書p.2 第1章 総則 5. 一般共通事項 つた上で設計変更の該当の有無を 判断することとなります。  お見込みのとおりです。 設計図書p.3 第1章 総則 5. 一般共通事項 対別することとなります。  お見込みのとおりです。 設計図書p.3 第1章 総則 5. 一般共通事項 対別することとなります。  お見込みのとおりです。 設計図書p.3 第1章 総則 5. 一般共通事項 4) 疑義 10 元段共通事項 4) 疑義 10 元段共通事項 4) 疑義 2 元段土域の発見等) については 設計変更扱いとなると考えてよろしい	質問	質問内容	回 答	設計図書等の該当頁
書で確認できず且つ予見できない相 遠が生じた場合、設計変更扱いにな ると考えてよろしいでしょうか。  おのではありません。予見できないものであったとしても、本工事の 目的及び施工上当然に必要と思われるものについては、組合の指示 に従い、受注者の負担と責任において対応していただく必要があります。 なお、当然に必要であるか否かについては、発生した事象ごとに受発 注者間で協議を行った上で判断することとなります。  「当然に必要と思われるものについては、発生した事象ごとに受発 注者間で協議を行った上で判断することとなります。 「当然に必要と思われるものについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。 「当然に必要と思われると想定されない。要件」については、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で設計変更の該当の有無を判断することとなります。  「当然に必要と思われると想定されない要件」については、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で設計変更の該当の有無を判断することとなります。  「当然に必要と思われると想定されない要件」については、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行ったと表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	番号	21. 1	–	(該当箇所)
遠が生じた場合、設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。  場合」、直ちに設計変更の扱いとなるものではありません。予見できないものであったとしても、本工事の目的及び施工上当然に必要と思われるものについては、組合の指示に従い、受注者の負担と責任において対応していただく必要があります。 なお、当然に必要であるか否かについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。  「当然に必要と思われるものについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。 「当然に必要と思われると想定されない実体」については、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で設計変更の該当の有無を判断することとなります。  「当然に必要と思われると想定されない要件」については、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で設計変更の該当の有無を判断することとなります。  「当然に必要と思われると想定されない要件」については、設計変更の該当の有無を判断することとなります。  「当然に必要と思われると想定されない要件」については、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った。まり、一般共通事項も、 「発生、地中での理設廃棄物の発見を対していたは、設計のです。  「お見込みのとおりです。  「お見込みのとおりです。  「おり、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での理設廃棄物の発見・活染土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしいでは、設計図書り、3・一般共通事項も対験表	1	本工事にあたり、目視または設計図	「目視または設計図書で確認でき	
ると考えてよろしいでしょうか。     おものではありません。予見できないものであったとしても、本工事の目的及び施工上当然に必要と思われるものについては、組合の指示に従い、受注者の負担と責任において対応していただく必要があります。     なお、当然に必要であるか否かについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。     「当然に必要と思われるものについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。     「当然に必要と思われると想定されないますが、当然に必要と思われると想定されない事象でとに受発注者間で協議を行った上で設計変更の該当の有無を判断することとなります。     「当然に必要と思われると想定されない要件」については、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で設計変更の該当の有無を判断することとなります。     「当論に必要と思われると想定されない要件については設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。     「お見込みのとおりです。 設計図書p.3 第1章 総則 5. 一般共通事項 4) 疑義 15. 一般共通事項 4) 疑義 2. 汚染土壌の発見等) については設計変更扱いとなると考えてよろしい		書で確認できず且つ予見できない相	ずかつ予見できない相違が生じた	
いものであったとしても、本工事の 目的及び施工上当然に必要と思われるものについては、組合の指示 に従い、受注者の負担と責任において対応していただく必要があります。 なお、当然に必要であるか否かについては、発生した事象ごとに受発 注者間で協議を行った上で判断することとなります。  「当然に必要と思われるものについては、発生した事象ごとに受発 注者間で協議を行った上で判断することとなります。 「当然に必要と思われると想定されない要件」については、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った世別主意を対していては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で設計変更の該当の有無を判断することとなります。  「当然に必要と思われると想定されない要件については設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。  「製業が生じ書面にて協議を行った際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしい		違が生じた場合、設計変更扱いにな	場合」、直ちに設計変更の扱いとな	
目的及び施工上当然に必要と思われるものについては、組合の指示に従い、受注者の負担と責任において対応していただく必要があります。 なお、当然に必要であるか否かについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。  2 「当然に必要と思われるものについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。  3 「当然に必要と思われると想定されない」と記載されていますが、当然に必要と思われると想定されない要件については設計変更扱いになると考えてよろしいでしようか。  3 「疑義が生じ書面にて協議を行った際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしい		ると考えてよろしいでしょうか。	るものではありません。予見できな	
れるものについては、組合の指示 に従い、受注者の負担と責任において対応していただく必要があります。 なお、当然に必要であるか否かについては、発生した事象ごとに受発 注者間で協議を行った上で判断することとなります。  2 「当然に必要と思われるものについては、発生した事象ごとに受発 注者間で協議を行った上で判断することとなります。  「当然に必要と思われると想定されないでは、組合の指示に従い、受注者の負担と責任において達成しなければならない」と記載されていますが、当然に必要と思われると想定されない要件」とついては設計変更の該当の有無を判断することとなります。  3 「要義が生じ書面にて協議を行った際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしい  3 「要義が生じ書面にて協議を行った際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしい			いものであったとしても、本工事の	
に従い、受注者の負担と責任において対応していただく必要があります。 なお、当然に必要であるか否かについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。  1 当然に必要と思われるものについては、発生した事象でとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。  2 「当然に必要と思われると想定されるい要件」については、発生した事象でとに受発注者間で協議を行ったはならない」と記載されていますが、当然に必要と思われると想定されない要件」については、発生した事象でとに受発注者間で協議を行った上で設計変更の該当の有無を判断することとなります。  3 疑義が生じ書面にて協議を行った際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしい			目的及び施工上当然に必要と思わ	
いて対応していただく必要があります。 なお、当然に必要であるか否かについては、発生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。  2 「当然に必要と思われるものについては、経生した事象ごとに受発注者間で協議を行った上で判断することとなります。  5 当然に必要と思われると想定されないない。 第1章 総則 5 一般共通事項 1 1 適用範囲 判断することとなります。  3 疑義が生じ書面にて協議を行った際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしいでは、 第1章 総則 5 一般共通事項 4) 疑義 2 ・			れるものについては、組合の指示	
す。 なお、当然に必要であるか否かに ついては、発生した事象ごとに受発 注者間で協議を行った上で判断す ることとなります。  2 「当然に必要と思われるものにつ いては、組合の指示に従い、受注者 の負担と責任において達成しなけれ ばならない」と記載されていますが、 当然に必要と思われると想定されな い要件については設計変更扱いになると考えてよろしいでしようか。  3 疑義が生じ書面にて協議を行った 際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については 設計変更扱いとなると考えてよろしい			に従い、受注者の負担と責任にお	
なお、当然に必要であるか否かに ついては、発生した事象ごとに受発 注者間で協議を行った上で判断す ることとなります。  2 「当然に必要と思われるものにつ いては、組合の指示に従い、受注者 の負担と責任において達成しなけれ ばならない」と記載されていますが、 当然に必要と思われると想定されな い要件については設計変更扱いにな ると考えてよろしいでしょうか。  3 疑義が生じ書面にて協議を行った 際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については 設計変更扱いとなると考えてよろしい			いて対応していただく必要がありま	
ついては、発生した事象ごとに受発 注者間で協議を行った上で判断することとなります。  2 「当然に必要と思われるものについては、組合の指示に従い、受注者の負担と責任において達成しなければならない」と記載されていますが、当然に必要と思われると想定されない要件」については設計変更の該当の有無を判断することとなります。  3 疑義が生じ書面にて協議を行った際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしいには設計変更扱いとなると考えてよろしいには設計変更扱いとなると考えてよろしい			す。	
注者間で協議を行った上で判断することとなります。  2 「当然に必要と思われるものについては、発生したいては、組合の指示に従い、受注者の負担と責任において達成しなければならない」と記載されていますが、当然に必要と思われると想定されない要件については設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。  3 疑義が生じ書面にて協議を行った際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしいとなると考えてよろしいとなると考えてよろしい			なお、当然に必要であるか否かに	
3こととなります。   3こととなります。   3   3   3   3   3   3   3   3   3			ついては、発生した事象ごとに受発	
2 「当然に必要と思われるものにつ いては、組合の指示に従い、受注者 れない要件」については、発生した 第1章 総則 事象ごとに受発注者間で協議を行 がならない」と記載されていますが、 当然に必要と思われると想定されな 判断することとなります。 1)適用範囲 判断することとなります。 2 疑義が生じ書面にて協議を行った 際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発 見・汚染土壌の発見等)については 設計変更扱いとなると考えてよろしい 2 提到 5. 一般共通事項 4) 疑義 設計変更扱いとなると考えてよろしい			注者間で協議を行った上で判断す	
いては、組合の指示に従い、受注者 れない要件」については、発生した 第1章 総則 5. 一般共通事項 はならない」と記載されていますが、 当然に必要と思われると想定されな い要件については設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。 3 疑義が生じ書面にて協議を行った 際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については 設計変更扱いとなると考えてよろしい 第1章 総則 5. 一般共通事項 4)疑義 設計変更扱いとなると考えてよろしい			ることとなります。	
の負担と責任において達成しなけれ	2	「当然に必要と思われるものにつ	「当然に必要と思われると想定さ	設計図書p.2
ばならない」と記載されていますが、 当然に必要と思われると想定されない要件については設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。  3 疑義が生じ書面にて協議を行った際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしい		いては、組合の指示に従い、受注者	れない要件」については、発生した	第1章 総則
当然に必要と思われると想定されない要件については設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。  3 疑義が生じ書面にて協議を行った際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしい		の負担と責任において達成しなけれ	事象ごとに受発注者間で協議を行	5. 一般共通事項
い要件については設計変更扱いになると考えてよろしいでしょうか。  3 疑義が生じ書面にて協議を行った際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発見・汚染土壌の発見等)については設計変更扱いとなると考えてよろしい		ばならない」と記載されていますが、	った上で設計変更の該当の有無を	1) 適用範囲
ると考えてよろしいでしょうか。  3 疑義が生じ書面にて協議を行った お見込みのとおりです。 設計図書p.3 際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発 見・汚染土壌の発見等)については 設計変更扱いとなると考えてよろしい		当然に必要と思われると想定されな	判断することとなります。	
3 疑義が生じ書面にて協議を行った お見込みのとおりです。 設計図書p.3 際に、明らかに受注者責任外(天災・住民反対・地中での埋設廃棄物の発 見・汚染土壌の発見等)については 設計変更扱いとなると考えてよろしい		い要件については設計変更扱いにな		
際に、明らかに受注者責任外(天災・ 住民反対・地中での埋設廃棄物の発 見・汚染土壌の発見等)については 設計変更扱いとなると考えてよろしい		ると考えてよろしいでしょうか。		
住民反対・地中での埋設廃棄物の発 見・汚染土壌の発見等)については 設計変更扱いとなると考えてよろしい	3	疑義が生じ書面にて協議を行った	お見込みのとおりです。	設計図書p.3
見・汚染土壌の発見等) については 設計変更扱いとなると考えてよろしい		際に、明らかに受注者責任外(天災・		第1章 総則
設計変更扱いとなると考えてよろしい		住民反対・地中での埋設廃棄物の発		5. 一般共通事項
		見・汚染土壌の発見等)については		4)疑義
		設計変更扱いとなると考えてよろしい		
Cレよフ/ハ³₀		でしょうか。		

4	発注者の指示等により変更する場	アスベストの数量を含め、工事数	設計図書p.3
	合は変更対象と記載されています	量(参考数量及び参考図面の明	第1章 総則
	が、公告図面に記載されていないア	示)に差異が生じた場合は、原則	5. 一般共通事項
	スベストが大量に見つかった等は該	として、変更契約に該当しません。	5)変更①
	当すると考えてよろしいでしょうか。	ただし、公告資料に記載したア	
		スベスト調査について、その実施	
		方法や測定方法自体に誤りがあっ	
		た場合は、変更契約の該当として	
		取扱う場合があります。	
5	「本工事の品質・安全を確保するこ	ダイオキシン類及びアスベスト撤	設計図書p.2
	とができない箇所が発見された場合	去に係る作業等において、事前の	第1章 総則
	は、本仕様書に対する改善変更を受	測定結果や建物の構造等から、仕	5. 一般共通事項
	注者の負担において行う」とは具体的	様書に記載した施工方法、排気回	5)変更②
	にどのような状況を想定されているか	数、基準値、測定回数等では、十	
	ご教示お願いします。	分な品質、安全を確保することが	
		できないと考えられる場合等を想	
		定しています。	
6	「各図書に対して部分的な変更を	「発注者の指示または承諾を得	設計図書p.3
	必要とする場合には発注者の指示ま	て各図書に対して部分的な変更を	第1章 総則
	たは承諾を得て変更することができ	した場合で、著しく工事金額が上	5. 一般共通事項
	る」と記載されていますが、このような	昇する場合」、直ちに設計変更の	5)変更③
	状況が発生し、著しく工事金額が上	対象となるものではありません。設	
	昇する場合は設計変更対象と考えて	計変更の対象の有無について	
	よろしいでしょうか。	は、質問番号1~4に対する回答	
		を参照してください。	
7	80 検体中のアスベスト含有資料 15	アスベスト未含有の採取場所デ	設計図書p.17
	検体は記載されていますが、アスベ	ータは別添のとおりです。	第5章 解体撤去工事
	スト未含有の採取場所データの提供		4. アスベスト含有建材
	は可能でしょうか。		除去工事
			表2 アスベスト分析調
			査結果
8	ピット内に灰を入れていた関係上、	管理区域については、受注者に	
	ピット内は管理区域と考えて宜しいで	おいて必要な測定等を実施した上	
	しょうかご教示お願いします。	で決定してください。	
9	今回の定性分析値でレベル3のパ	質問番号4に対する回答と同様	設計図書p.17
	ッキン、弾性吹付タイル等が確認され	です。	第5章 解体撤去工事
	ていますが、工事着手前にレベル1、		4. アスベスト含有建材

2のアスベストが発見されたときは設	除去工事
計変更対象になると考えてよろしいで	表2 アスベスト分析調
しょうか。	査結果

## 質問書に対する回答

## 件 名 旧灰溶融施設 (エコスラグセンター) 解体撤去工事

次のとおり回答します。

			T
質問	質問内容	回 答	設計図書等の該当頁
番号	具(H) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		(該当箇所)
10	解体敷地範囲内の土質性状図及	土質性状図については、別添を	
	び地下水位情報の資料があれば、提	ご参照ください。	
	供は可能でしょうか。	地下水位情報の資料はありませ	
		ん。	
11	土壌汚染調査は事前に実施されて	事前に実施した土壌汚染調査の	
	いると思いますが、その結果につい	結果については、別添をご参照く	
	て開示可能でしょうか。	ださい。	
12	解体作業開始前※1空気中ダイオ	合量測定で良いと考えていただ	設計図書p.22
	キシン類は分離測定と規定されてい	いて差支えありません。	第5章 解体撤去工事
	ます。除染作業中※2及び除染後解		12.調査・測定・分析等
	体前※3は合量測定で良いと考えて		表4 作業環境測定
	よろしいでしょうか。		<b>%</b> 1, <b>%</b> 2, <b>%</b> 3
13	ピーク時(除染中・解体中)と2工種	解体(部材の取り外し等)と並行	設計図書p.23
	記載となっていますが、分析検体数	して除染作業を行う場合を想定	第5章 解体撤去工事
	は1検体となっています。どちらの工	し、2工種を記載しているもので	12.調査・測定・分析等
	種時に検体すれば良いかご教示お	す。除染中に採取したものをピー	表7 大気環境測定
	願いします。	ク時の検体としてください。	
14	洗浄水はダイオキシン類及び重金	1つの検体を用い、それぞれの	設計図書p.23
	属、1,4-ジオキサンを分析することと	物質の分析を行うことを想定して	第5章 解体撤去工事
	なっていますが、分析検体数は1検	います。	12.調查·測定·分析等
	体と記載されています。分析検体数		表8 処分廃棄物
	は2検体ということでしょうか。ご教示		
	お願いします。		
15	煙突内筒及び煙突構面台、煙突	煙突の詳細図面については、別	
	基礎部、杭伏せ図等の詳細図面の提	添をご参照ください。	
	示をお願いします。	なお、その他のプラント設備等	
L			I

		の詳細図面については、本組合	
		事務局総務課(米子市淀江町西	
		原1129番地1)にて閲覧が可能で	
		す。	
16	管理棟・渡り廊下・工場棟基礎にラ	細目別内訳数量に示した数量と	
	ップルコンクリートが施工されており、	実際の数量に差異が生じた場合、	
	細目別内訳数量で 581 m <sup>3</sup> 計上されて	原則として、設計変更の対象には	
	います。現場内での圧砕分別作業が	なりません。	
	発生する上で大幅に数量(1.2 倍以	ただし、基礎部分のラップルコン	
	上)が増加したときは設計変更対象に	クリートは、竣工時の支持地盤の	
	なると考えてよろしいでしょうかご教示	状況や施工条件等によって、明ら	
	お願いします。	かに受注者責任外の埋設物等が	
		存在する場合が想定されますの	
		で、その場合については、受発注	
		者間で協議した上で、設計変更の	
		対象とすることがあります。	
17	土壌汚染状況開示後の内容に汚	お見込みのとおりです。	設計図書p.17
	染土壌が存在していた場合、地下構		第5章 解体撤去工事
	造物撤去方法に大幅な変更が生じた		4.アスベスト含有建材
	場合は協議後設計変更の対象となる		除去工事
	との理解で宜しいでしょうかご教示お		表2 アスベスト分析調
	願いします。		查結果